

Nojima

株式会社 ノジマ

〒231-0015 神奈川県横浜市中区尾上町6-90 HS大江橋ビル
TEL.050-3116-1212(代) FAX.050-3116-1250

「投資家のみなさま」専門メールアドレス info@nojima.co.jp

<http://www.nojima.co.jp>

■ い〜でじ!! ホームページURL

- い〜でじ!!本店 PC版 <http://www.enet-japan.com>
- い〜でじ!!本店 モバイル版 <http://www.enet-japan.com/mb>
- い〜でじ!!楽天市場店 <http://www.rakuten.co.jp/edigi/>
- い〜でじ!!Yahoo!店 <http://store.yahoo.co.jp/digicon/>

■ ソロン株式会社 <http://www.solon-inc.com/>

■ 携帯電話専門店テレマックス <http://www.telmax.co.jp>



ノジマグループは横浜ベイスターズのユニフォームスポンサーです。

ノジマは、スポーツ文化を通じて、地域の皆様の発展に貢献することを目指します。

省エネで地球と環境に優しく。 —ノジマ環境宣言

ノジマは
チーム・マイナス6%に
参加しています。



Nojima

投資家のみなさまへ

第47期 事業報告書 平成20年4月1日▶平成21年3月31日



■ 全社経営理念

～お客様にさらに信頼されるノジマへ～

- 社会に貢献する経営
- オープンで公正な経営
- 独創的で革新的な経営
- 人間愛がある経営
- 向上心がある経営

■ ごあいさつ	P. 2
■ Q&A	P. 3
■ トピックス	P. 4
■ 子会社の概況	P. 4
■ 財務ハイライト	P. 5
■ 決算の概況	P. 6
■ 連結キャッシュ・フロー計算書	P. 7
■ 品目別売上高	P. 8
■ 株式の概況	P. 8
■ 当社グループ関連主要記事	P. 9～10
■ 会社の概要	P.11
■ 株主メモ	P.11
■ 営業店舗	P.12～14
■ インターネット通信販売のご案内	P.14

■ ごあいさつ

当社グループの販売状況につきましては、北京オリンピックの開催による薄型テレビを中心としたデジタルAV機器の伸長に加え、高付加価値の白物家電製品のニーズが市場で高まり、販売が好調でありました。第3四半期以降は、米金融危機に端を発した消費不況の影響により個人消費の低迷が懸念されたところではありますが、お客様からより一層の支持を得ることができたと考えております。

また、携帯電話販売事業につきましても、国内出荷台数が依然として落ち込む中、当初計画の販売台数を達成することができました。eコマース事業に関しましても、依然厳しい競争環境にありますが、販売戦略の見直しを図り当初計画の売上高を達成しております。

以上により、売却した株式会社WAVEの売上高、不採算事業であったDVD販売からの撤退を補い、また、閉店等による総売場面積の減少はありましたが、ノジマグループの売上高は、前期比0.8%増の138,880百万円となりました。

収益の状況につきましては、業績不振が続いていた連結子会社である株式会社WAVEを売却、eコマース事業を担当しておりました株式会社イーネット・ジャパンを当社に吸収合併を行う等、グループ会社の集約と不採算事業の整理を行い、収益改善を図りました。

携帯販売事業につきましては収益面においても引き続き順調に推移し、eコマース事業につきましては、収益構造の改善を進め黒字化が見えるまでに改善が進んでおります。店舗人件費につきましては増加の傾向であります。国内の雇用状況が悪化している中、当社グループは優秀な人材獲得のチャンスととらえ、積極的な採用を実施しており、これは将来に対する投資と考えております。

また、人件費を含む販売管理費につきましてはコントロール可能な費用でもあり、予実管理を的確に行いました。

以上によりまして、当連結会計年度における営業利益は前年比99.8%増加し、1,578百万円、経常利益は前年比19.7%増加し、3,717百万円となりました。当期純利益につきましても、2,624百万円となり黒字回復となりました。

次期の見通しについては、不況である今こそ好条件での出店が可能になる為、積極的に出店を進め景気回復時に大きく伸ばせるよう戦略的に取り組んでまいります。

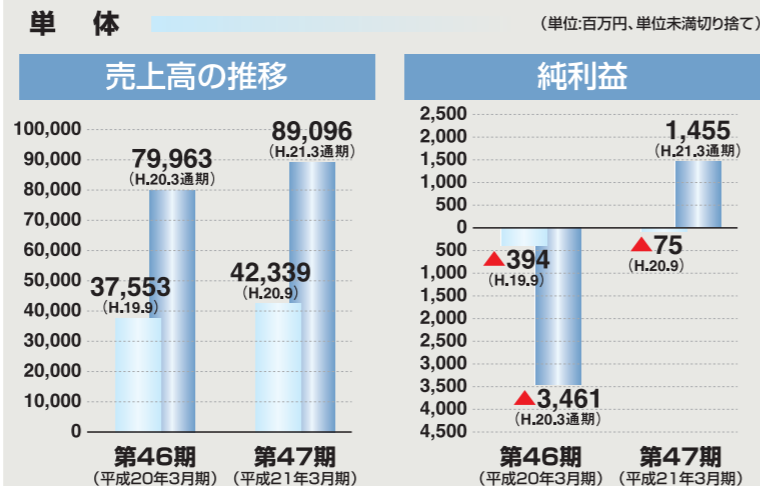


代表執行役社長 野島 廣司

Q&A

Q ノジマ個別の結果はどうか

A 47期累計では、第2四半期までは、北京オリンピック開催による薄型テレビを中心としたデジタルAV機器の伸長、エアコンを中心に家電製品が堅調に推移、第3四半期以降は、米金融危機に端を発した消費不況の影響により、家庭内での調理、ビデオ鑑賞の需要が高まり調理家電や薄型テレビ、レコーダーの販売が伸びたこと、更に、昨年度は旧真電グループが年間10億円以上の赤字を出していたが今期は売上、利益ともに大幅に改善したことにより、売上高は890億96百万円と前年比111.4%、経常利益は17億41百万円と前年比115%、当期純利益は14億55百万円と前年に対して49億17百万円の改善と大きく伸ばすことができました。また、売上高については、第2四半期までに不採算店舗である7店舗を閉店、第3四半期に大型店を2店舗出店、結果、売場面積は9.5%減少しましたが上記のように増収となりました。当期純利益につきましても、平成20年3月期に財務の健全化、負の資産を一掃するために特別損失37億74百万円計上、当期純損失34億61百万円でしたが上記のように大幅な増益となりました。



Q 48期の見通しについてお聞かせください

A 米金融危機に端を発した消費不況の影響により日本経済は大きく落ち込んだ状況となっています。雇用不安、収入不安、消費意欲の減退は続きデジタル家電も厳しい環境が続くと予測しております。このような100年来の不況下では、消費、雇用、不動産に大きな不安がありますが当社は不況を好機に行動してまいります。消費では、お客様の慎重な商品選択がお客様の店舗間の回遊となりご来店客数の増加に繋がります。雇用につきましては、新卒採用減により優秀な人材の応募が増加するため積極的な人材の確保を図ってまいります。不動産においては地価下落など、有利な条件で出店が可能な環境となっております。この機会を逃さず当社は積極的に新規出店、新規採用を強化してまいります。通期の個別業績予想につきましては、積極的な新規出店、人材採用により売上高950億円と前年比106.6%、経常利益は114.8%と見ており、成長路線を邁進してまいります。

Q グループ戦略について

A 今期は、株式会社イーネット・ジャパンを吸収合併、株式会社WAVEを売却と経営資源の選択と集中を実施、48期の4月は人材派遣会社である株式会社オー・ティエスの売却を決定し更なる本業への集中を図っております。また、ラオックス株式会社との株式会社ノジマ関東(仮称)の株式取得(子会社化)に関する基本合意書は残念ながらラオックス株式会社での取締役会で承認されず解除という結果になってしまいましたが、当社は本業とのシナジーが見込める案件につきましては、先方の財務状況、カルチャーなどを見て、機動的に業務提携あるいはM&Aを実施するか判断してまいります。

トピックス

1 店舗展開について

47期は、8店舗閉店、新規に4店舗出店とスクラップ&ビルドを進め、また、不振店を閉店する事により出血を止めるべく行動してまいりました。48期は、積極的に新規出店を進めてまいります。不況期の今は、好条件での物件が多く、積極的に出店を進め景気回復時に大きく伸ばせるよう図ってまいります。また、従来通り複合型ショッピングセンターへの進出を促進、当社単独でのロードサイドへの出店等、出店形態を多様化し収益の安定を図ろうと計画しております。不況を好機に活かし、お客様のニーズ、立場に立った売場づくりと仕組みづくりを続けてまいります。

2 当社最大の人材採用

今春は、新卒社員174名採用と当社創立以来、最大の採用人数になります。来春においては新卒社員300名の採用を予定しております。この不況期にご優秀な人材を獲得するチャンスであると考え、新卒、中途に拘らず更に積極的な採用を進めてまいります。

3 創業50周年

当社は、今期で創業50周年を迎えることとなりました。また、50周年を記念しまして47期期末配当金を普通配当金6円、記念配当金3円、合計9円としました。これからも株主の皆様方に貢献できるよう努めてまいります。



子会社の概況

1 ソログループの概況

ソログループとしては09年度下期の本数実績は前年比96.4%の着地となりました。市場平均は75%と見ており、市場に対して20%は勝つことができたと理解いたしております。

携帯電話市場は政策不況と言われますように、割賦販売がメインの販売方法として定着してから、市場は大変に厳しい推移をいたしております。そういった中で我々は

- ① 携帯電話は他人に一番見られる商品であり、新型商品への要望は非常に高い。
- ② 市場に左右されることなく、各店舗の施策をお客様にタイムリーに訴えかけることにより、携帯を買うならソロへ、との流れを作る。
- ③ 人材を人財とすべく、人の育成に全力を投入する。

の3点をメインとしてこの下期取り組んでまいりました。

結果としては11月、1月、3月はトータルでは前年の本数を越えることができました。これは我々にとっては大きな自信となり、市場がどうであろうと、取り組み方によっては我々で市場を作り出すことが可能であると認識することができました。

48期上期については、突如の金融危機から市場は引き続き、決して良い流れとはならないと考えますが、携帯電話については金融危機よりも早く不況に突入しており、更に世の中が良すぎると他の商品への流れが強くなることから、他の商品ほどの大きな影響は受けないものと考えます。あくまでも市場をソログループとしてはリードすべく、タイムリーな施策と人材育成に全力を上げることににより、上期についても大きく市場をリードしていけるように、全力で取り組んでまいります。



ノジマ相模原本店内ドコモサービスコーナー相模原店

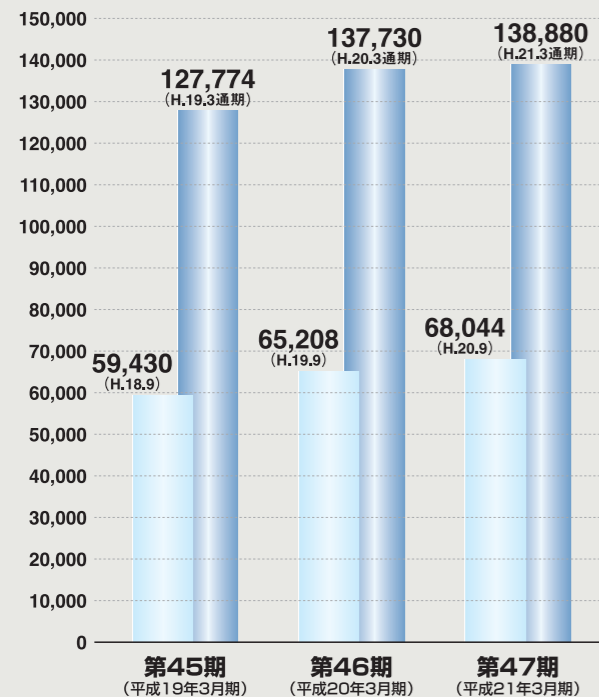
財務ハイライト (平成20年4月～平成21年3月)

連結

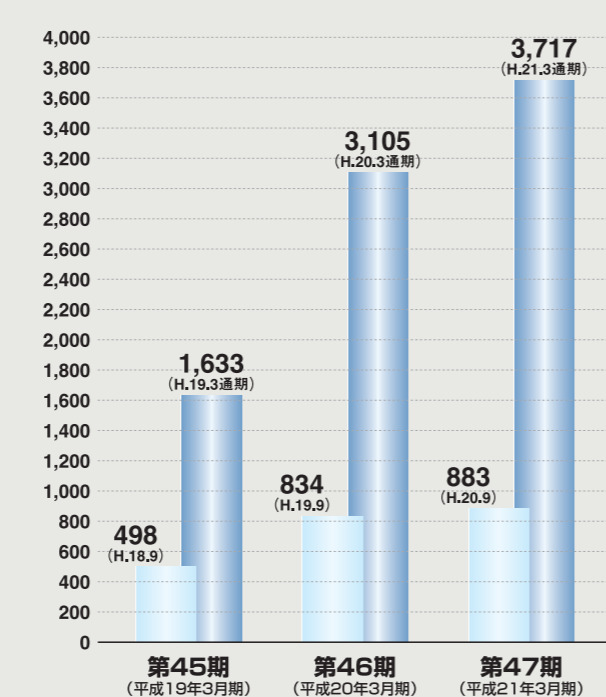
(単位:百万円、単位未満切り捨て)

■ 売上高/1,388億8,000万円 ■ 経常利益/37億1,700万円 ■ 純利益/26億2,400万円

売上高の推移 (単位:百万円)



経常利益の推移 (単位:百万円)



連結	第45期 平成19年3月通期	第46期 平成20年3月通期	第47期 平成21年3月通期
売上高	127,774	137,730	138,880
経常利益	1,633	3,105	3,717
純利益	707	▲3,107	2,624
1株当たり純利益(円)	43.55	▲147.30	131.91
総資産	56,896	46,521	47,450
純資産	15,501	11,553	13,563

(単位:百万円、単位未満切り捨て)

決算の概況 (平成21年3月31日現在)

連結

(単位:百万円、単位未満切り捨て)

貸借対照表(通期) 平成21年3月31日現在。前期は平成20年3月31日現在。

	第46期 (通期)	第47期 (通期)		第46期 (通期)	第47期 (通期)
資産の部			負債の部		
現金及び預金	3,189	5,088	支払手形及び買掛金	12,532	12,545
受取手形及び売掛金	8,598	9,212	短期借入金	2,132	192
たな卸資産	14,398	13,239	1年内返済予定の長期借入金	3,025	2,350
その他	3,117	3,423	1年内償還予定の社債	20	20
貸倒引当金	▲35	▲13	未払金	3,600	1,457
流動資産合計	29,268	30,950	未払法人税等	668	508
建物及び構築物	4,544	4,347	ポイント引当金	—	1,376
土地	2,933	3,587	訴訟損失引当金	—	655
その他	1,258	998	その他	1,225	1,405
有形固定資産合計	8,735	8,933	流動負債合計	23,204	20,512
無形固定資産合計	467	426	社債	20	—
差入敷金及び保証金	5,973	5,695	長期借入金	4,217	7,023
その他	2,102	1,518	退職給付引当金	969	1,001
貸倒引当金	▲25	▲74	負ののれん	4,658	3,451
投資その他の資産合計	8,050	7,138	その他	1,898	1,897
固定資産合計	17,253	16,499	固定負債合計	11,764	13,374
資産の部合計	46,521	47,450	負債の部合計	34,968	33,886

純資産の部		
資本金	4,323	4,323
資本剰余金	4,738	4,241
利益剰余金	2,827	5,246
自己株式	▲493	▲273
株主資本合計	11,395	13,538
その他有価証券評価差額金	17	13
新株予約権	—	4
少数株主持分	140	8
純資産合計	11,553	13,563
負債純資産合計	46,521	47,450

損益計算書(通期) 平成20年4月1日から平成21年3月31日まで。前期は平成19年4月1日から平成20年3月31日まで。

	第46期 (通期)	第47期 (通期)
売上高	137,730	138,880
売上原価	112,995	112,928
売上総利益	24,735	25,952
販売費及び一般管理費	23,945	24,374
営業利益	789	1,578
営業外収益	2,592	2,397
営業外費用	276	258
経常利益	3,105	3,717
特別利益	67	487
特別損失	4,183	732
税金等調整前当期純利益(▲損失)	▲1,011	3,472
法人税、住民税及び事業税	890	884
法人税等調整額	1,330	▲4
少数株主損失(▲)	▲125	▲32
当期純利益(▲損失)	▲3,107	2,624

連結キャッシュ・フロー計算書

平成20年4月1日から平成21年3月31日まで。前期は平成19年4月1日から平成20年3月31日まで。

営業活動によるキャッシュ・フロー			投資活動によるキャッシュ・フロー		
区分	期別	(単位:百万円、単位未満切り捨て)	区分	期別	(単位:百万円、単位未満切り捨て)
	第46期 (通期)	第47期 (通期)		第46期 (通期)	第47期 (通期)
税金等調整前当期純利益(▲純損失)	▲1,011	3,472	定期預金の預入による支出	▲37	▲102
有形固定資産減価償却費	1,204	922	定期預金の払戻による収入	34	630
減損損失	2,689	168	投資有価証券の売却による収入	59	130
のれん及び負ののれん償却費	▲1,035	▲1,184	有形固定資産の取得による支出	▲1,411	▲1,882
退職給付引当金の増加額	20	138	有形固定資産の売却による収入	0	235
貸倒引当金の増加額	3	27	無形固定資産の取得による支出	▲200	▲80
ポイント引当金の増加額	—	1,376	差入敷金及び保証金の預入による支出	▲597	▲377
販売商品保証引当金の増加額	86	144	その他	607	203
受取利息及び受取配当金	▲101	▲50	投資活動によるキャッシュ・フロー	▲1,545	▲1,243
支払利息	255	191			
固定資産売却益	0	▲207	財務活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産除却損	189	148	区分	期別	(単位:百万円、単位未満切り捨て)
保証金等解約損	61	13	短期借入金純増加額(▲減少額)	第46期 (通期)	第47期 (通期)
投資有価証券売却損	20	79	長期借入による収入	▲1,924	▲539
投資有価証券評価損	342	90	長期借入金の返済による支出	280	5,200
子会社株式売却益	—	▲121	長期借入金の返済による支出	▲3,909	▲3,068
その他	▲1,733	▲1,270	社債の償還による支出	▲520	▲20
小計	993	3,939	自己株式取得による支出	▲462	▲465
利息及び配当金の受取額	101	52	配当金の支払額	▲258	▲238
利息の支払額	▲267	▲185	その他	0	—
法人税等の支払額	▲676	▲1,005	財務活動によるキャッシュ・フロー	▲6,793	868
営業活動によるキャッシュ・フロー	151	2,801			

現金及び現金同等物の増(▲減)額		
区分	期別	(単位:百万円、単位未満切り捨て)
	第46期 (通期)	第47期 (通期)
現金及び現金同等物の増(▲減)額	▲8,187	2,426
現金及び現金同等物期首残高	10,775	2,588
現金及び現金同等物期末残高	2,588	5,014

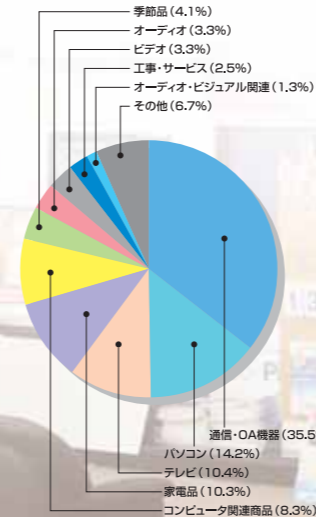
品目別売上高

(平成21年3月31日現在)

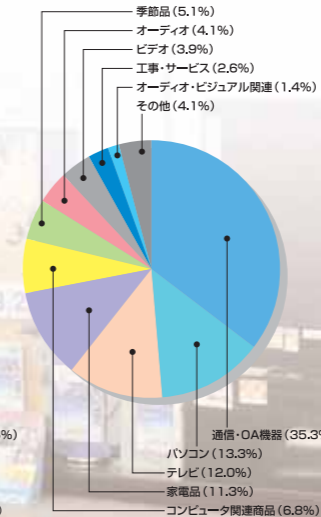
区分	期別	
	前決算 連結会計期間 (平成19年4月1日 平成20年3月31日)	当決算 連結会計期間 (平成20年4月1日 平成21年3月31日)
通信・OA機器	48,918	49,044
パソコン	19,560	18,447
テレビ	14,318	16,724
家電品	14,121	15,746
コンピュータ関連商品	11,466	9,375
季節品	5,648	7,118
オーディオ	4,585	5,731
ビデオ	4,563	5,464
工事・サービス	3,462	3,551
オーディオ・ビジュアル関連商品	1,840	2,011
その他	9,243	5,664
合計	137,730	138,880

(単位:百万円、単位未満切り捨て)

■ 第46期(通期)



■ 第47期(通期)



※割合は四捨五入しているため、合計が100%にはなりません。

株式の概況

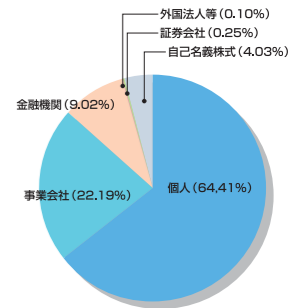
(平成21年3月31日現在)

株式分布状況

- 会社が発行する株式の総数 85,000,000株
- 発行済み株式の総数 20,462,408株
- 1単元の株式数 100株
- 株主数 8,486名

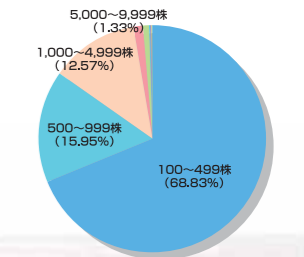
株式の所有者別分布

個人	13,180,040株	64.41%
事業会社	4,541,626株	22.19%
金融機関	1,844,332株	9.02%
外国法人等	19,867株	0.10%
証券会社	51,193株	0.25%
自己名義株式	825,350株	4.03%
合計	20,462,408株	100.00%



株式の所有数別分布状況

100~499株	68.83%
500~999株	15.95%
1,000~4,999株	12.57%
5,000~9,999株	1.33%
10,000~49,999株	0.87%
50,000~99,999株	0.13%
100,000~499,999株	0.20%
500,000~999,999株	0.11%
1,000,000~4,999,999株	0.05%
合計	100.00%



会社の概要 (平成21年3月31日現在)

商号	株式会社 ノジマ(店頭登録:7419)	
英文名	NOJIMA CORPORATION	
本社所在地	〒231-0015 神奈川県横浜市中区尾上町6-90 HS大江橋ビル5F TEL:050(3116)1212 FAX:050(3116)1250 URL:http://www.nojima.co.jp	
設立	昭和37年4月	
資本金	43億2,317万円	
役員	<ul style="list-style-type: none"> 取締役兼代表執行役社長 ● 取締役(社外)/星名 光男 取締役兼代表執行役専務兼財務経理部長 ● 取締役(社外)/松嶋 英機 取締役兼執行役専務兼財務経理部長 ● 取締役(社外)/仙波 昂 取締役兼執行役常務兼財務経理部長 ● 取締役(社外)/戸谷 雅美 取締役兼執行役常務兼財務経理部長 ● 取締役(社外)/梅津 武 取締役兼執行役常務兼財務経理部長 ● 取締役(社外)/石井 允三 取締役兼執行役常務兼財務経理部長 ● 取締役(社外)/木村 喬 取締役兼執行役常務兼財務経理部長 ● 取締役(社外)/山内 渉 取締役兼執行役常務兼財務経理部長 ● 取締役(社外)/佐藤 文三 取締役兼執行役常務兼財務経理部長 ● 取締役(社外)/倉持 昭彦 取締役兼執行役常務兼財務経理部長 ● 取締役(社外)/広瀬 哲夫 取締役兼執行役常務兼財務経理部長 ● 取締役(社外)/温盛 元 取締役兼執行役常務兼財務経理部長 ● 取締役(社外)/山内 渉 	
社員数	単独582名 平均年齢/35.2歳 連結854名 (平成20年9月30日現在)	
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ● パソコン、プリンター等のIT・情報関連 ● 携帯電話、PHS、FAX等の通信関連 ● TV、ビデオ、ムービー等のAV関連 ● 家庭用関連のゲーム機器 ● エアコン、冷蔵庫、電子レンジ等の家庭用電気製品の販売 <p>※店舗名は、「ノジマ」「でんぐら」[テレマックス]と 専門性を活かした独自の業態で展開</p>	
連結子会社	<ul style="list-style-type: none"> ● ソロン株式会社/通信機器卸売・販売 ● 株式会社オー・ティ・エス/一般労働者派遣事業及び有職職業紹介事業 (平成21年4月21日売却決議済) ● 西日本電機株式会社/携帯電話端末販売事業 	
主要取引先	<ul style="list-style-type: none"> ● ソニーマーケティング ● パナソニックコンシューママーケティング ● 日立コンシューママーケティング ● NECパーソナルプロダクツ ● キヤノンマーケティングジャパン ● au ● シャープエレクトロニクスマーケティング ● 東芝コンシューママーケティング ● 三菱電機ライフネットワーク ● ダイキン空調株式会社 ● NTTドコモ ● ソフトバンク 	
取引銀行	<ul style="list-style-type: none"> ● 三菱東京UFJ銀行/相模原支店 ● みずほ銀行/町田支店 ● 横浜銀行/相模原駅前支店 ● ほか 	

株主メモ (平成21年3月31日現在)

決算期	毎年3月31日に決算を行います。
定時株主総会	毎年6月に開催いたします。
基準日	3月31日
中間配当基準日	9月30日(中間配当を実施する場合)
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内1丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒100-8212/東京都千代田区丸の内1丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 (お問い合わせ先) 〒137-8081/東京都江東区東砂7丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711(フリーダイヤル)
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
公告掲載	電子公告 ※ やむを得ない事由により電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 ※ 決算公告に代えて、貸借対照表および損益計算書の開示は、当社ホームページ(http://www.nojima.co.jp/)に掲載しております。
株主優待制度	
株主優待券	3月31日及び9月30日現在で議決権を有する株主に対し、「株主優待券(10%割引)」を年2回贈呈
贈呈基準	所有株式数100株以上500株未満保有の株主に対し、10,000円の優待割引券(1,000円券×10枚)を1冊、同500株以上2,000株未満保有の株主に対し、25,000円の優待割引券(1,000円×25枚)を1冊、同2,000株以上保有の株主に対し、2冊(50,000円)をそれぞれ半期毎1回、贈呈する。
利用方法	現金、デビットカード、ノジマショッピングクレジットによる支払いの場合には優待割引券の使用により通常売価の10%が割引になる。またクレジットカードによる支払いの場合には優待割引券の使用により購入金額の8%が割引になる。但し、い〜でじ!!本店での購入の場合は後日相当額を現金で割り戻す。
有効期限	● 3月31日発行基準の優待割引券/翌年1月31日まで有効 ● 9月30日発行基準の優待割引券/翌年7月31日まで有効
取扱店舗	<ul style="list-style-type: none"> ● 株式会社ノジマの全店舗 ● い〜でじ!!本店上(www.enet-japan.com) ● 携帯電話専門店テレマックスの全店舗 <p>※ノジマグループ各社の店舗のない地域にお住まいの株主で、ご優待割引券を使用し、当社のお取り扱い商品をお買い求めになりたい方は、い〜でじ!!本店でのご利用をお薦め申し上げます。同社をご希望されない場合は、アンケートハガキ、ファックスを使って、(株)ノジマ総務グループ宛に、または当社ホームページからお問合わせフォームを使って(株)ノジマカスタマーセンター宛に住所、氏名、電話番号、株主No.と共に、商品名、メーカー名、型番名等をお知らせください。当社からご連絡させていただきます。</p>

営業店舗 (平成21年5月31日現在)

神奈川県	相模原市 ● 相模原本店 042-753-1516	静岡県	伊東市 ● 伊東店 0557-35-3001
	● 新城山店 042-783-0611		沼津市 ● 沼津店 055-927-2951
	● 座間店 046-298-1701		裾野市 ● 裾野店 055-994-1530
	厚木市 ● NEW厚木店 046-296-6121		富士市 ● イオン富士南店 0545-65-7021
	愛甲郡 ● 愛川店 046-284-1562		静岡市 ● 岡町店 054-355-0395
	伊勢原市 ● 伊勢原店 0463-91-1214		藤枝市 ● 藤枝店 054-647-2222
	秦野市 ● 秦野店 0463-83-1214		磐田市 ● 磐田店 0538-21-2371
	川崎市 ● 東名川崎店 044-871-8371	長野県	安曇野市 ● 豊科店 0263-71-1570
	● マルイファミリー溝口店(9F) 044-822-2525	山梨県	甲府市 ● NEW甲府店 055-228-2911
	横浜市 ● 横浜四季の森店 045-958-1561		都留市 ● 都留店 0554-46-1422
	● ららぽーと横浜店 045-929-6252		富士吉田市 ● 富士吉田店 0555-30-0011
	● センター北店 045-914-7661		韭崎市 ● 韭崎店 0551-30-0021
	● トレッサ横浜店 045-533-5631	茨城県	つくば市 ● イーアスクつば店 029-868-7271
	藤沢市 ● 藤沢店 0466-31-6377		土浦市 ● イオン土浦店 029-835-5251
	● 湘南台店 0466-46-7822	新潟県	新潟市 ● イオン新潟南店 025-385-8355
	茅ヶ崎市 ● 茅ヶ崎店 0467-54-0880		● 巻店 0256-73-2560
	綾瀬市 ● 綾瀬店 0467-79-5279		● 白根店 025-373-4500
	小田原市 ● 鴨宮店 0465-45-2345		村上市 ● 村上市店 0254-53-4411
	足柄上部 ● 大井松田店 0465-82-8168		五泉市 ● 五泉店 0250-42-1111
	足柄下部 ● 湯河原店 0465-64-1688		阿賀野市 ● 水原店 0250-63-2500
	鎌倉市 ● 鎌倉店 0467-42-1422		佐渡市 ● 佐渡店 0259-63-6300
東京都	港区 ● 六本木店 03-5771-4738		見附市 ● 見附店 0258-63-3220
	足立区 ● 北千住マルイ店(8F) 03-3888-7571		魚沼市 ● 小出店 025-792-8110
	江東区 ● 豊洲店 03-3533-9211		十日町市 ● 十日町店 025-752-5131
	町田市 ● 忠生店 042-792-3151		妙高市 ● 新井店 0255-72-9500
	● NEW鶴川店 042-737-6031	新業態店	
	国分寺市 ● 国分寺店 042-326-6511	神奈川県	藤沢市 ● オーディオスクエア藤沢 0466-31-0603
	小平市 ● 小平店 042-343-1422		相模原市 ● オーディオスクエア相模原 042-730-1326
	青梅市 ● NEW青梅デジタル館 0428-32-1215		横浜市 ● オーディオスクエアトレッサ横浜 045-533-5629
	● 青梅家電館 0428-31-0850	埼玉県	越谷市 ● オーディオスクエア越谷 048-990-1328
	西多摩郡 ● 日の出店 042-597-3155	東京都	武蔵村山市 ● M&IStation 042-590-1522
	八王子市 ● 八王子みなみ野店 042-632-2620		
	西東京市 ● ひばりが丘パルコ店 042-438-8901		
	調布市 ● 調布パルコ店 042-440-1734		
埼玉県	所沢市 ● 所沢本店 04-2903-1481		
	● 東所沢店 04-2951-1545		
	さいたま市 ● 大宮店 048-661-8366		
	● 浦和店 048-712-4811		
	上尾市 ● NEW上尾店 048-773-5577		
	草加市 ● 丸井草加店(5F) 048-920-5360		
	越谷市 ● レイクタウン店(mori1F) 048-990-1251		
	入間郡 ● 三芳店 049-274-1650		
千葉県	市川市 ● 市川店 047-329-6901		
	市原市 ● ユニモちはら台店 0436-76-0100		

